

「んですけど」の指導に関する一考察 -前置き用法を中心に

市村葉子 (福井工業高等専門学校)

研究の目的

学習者が交渉場面で使用する「んですけど」類を観察し、不自然さの原因を探る

「んですけど」類:
「んですけど」「んですけども」「んですが」など

研究背景

- ・「んですが(けど)」は初級後半で学習
- ・山内(2004)「**超絶話者の特徴は「んです」を「けど」「ね」「よ」「よね」などとうまく結びつけて使用できること**」

● 内省では学習者は「んですけど」を多用している
→ **学習者の問題点は非用ではなく、誤用**

【学習者の使用例】

(1) (店長にアルバイトの日数を減らしたいとお願いしている場面)
最近私は用事がある**んですが**、もし、えーと一週間に二回仕事をしてもいいですか?
(I-JAS TTH14 RP1)

RQ:学習者の不自然な使用の原因は?

「んですけど」類の類型化

永田・大浜(2001)を援用

- ① 前置き (2) ちょっとお話がある**んですけど**、いいですか?
- ② 逆接 (3) アルバイトは楽しい**んですが**、余裕がなくて…
- ③ 終助詞的 (4) (シフトをいつから変更したいか聞かれて) できれば来月からお願いしたい**んですけど**

研究概要

調査目的: 学習者が使用する「んですけど」類の不自然な使用の原因を探る

調査資料: I-JAS RP1「依頼:週3日のアルバイトを週2にしてみよう」 RP2「断り:ホールから調理に変わるように依頼され断る」

- 調査手順: 1. 中納言短単位検索により「**準体助詞**」「**ん**」+「**助動詞**」「**です**」+「**接続助詞**」で検索
2. エクセル「LEFT関数」機能を用いてターゲットを抽出(除外例:「んですから」「んですし」)
3. SPOT得点でレベル分け(初級~55点、中級56~80点、上級81~90点、母語話者)
4. 目視で確認 1261中1229発話(97.5%)が分析対象
5. ①、②、③、対象外(引用表現付、話者交替、分類不可など)の数を集計

表1 各用法の使用数

	①	②	③	計
母	60	92	113	265
学	455	257	252	964

$\chi^2(2) = 53.722, p < .01$ 母語話者は「逆接」「終助詞的」、学習者は「前置き」が有意に多い

調査結果

表2 母語話者及び習熟度別「んですけど」類使用数

	①前置き	理由(のて)	並列(し)	②逆接	③終助詞的	合計	対象外
母語話者	58	2	0	92	113	265	4
学習者	323	95	37	257	252	964	28
上級	78	13	3	93	52	239	10
中級	223	67	34	152	181	657	16
初級	22	15	0	12	19	68	2

〈学習者〉

「前置き」≒「理由」
日本語でレポートを書いた**んですが**、ちょっと見ていただけませんか?
『みんなの日本語』26課

安易な使用
は危険!

考察

展開が予測困難、予想外 → × 「んですけど」類

不自然な理由① 理由を述べる場面での使用

(5) ええ、でも、えー最近は、えっと卒論とか、えーいろいろ、あって〈うん〉、えっとー、すごく忙しくなった**んですけど**〈うん〉、えっとー、えっとたぶん、よ、四日は無理です
(上級 CCS39-RP1)

不自然な理由② 情報を列挙する場面での使用

(6) それはうーん私は日本語のはな話し言葉を練習したい**んですが**、〈うーん〉料理を作ることは〈はい〉全然ちょっと、無理だと思います
(中級 CCH63-RP2)

一発話には一回の「んですけど」類

不自然な理由③ 「んですけど」の多用

(7) あのー実はんー店長さんが私、んーシェフになりたい**んですが**、えー実は私はんーお客さんとお話、お話できる、仕事が〈うん〉うーんえーしたい**んですけど**、したい**んですが**えーとそして私は料理が下手な**んですが**、〈{笑}〉ちょっと上手くできない**んですが**、〈うん〉えーなんとか、えっと、んー今の仕事を続けてしてもらえませんか
(中級 CCS60-RP2)